

おんじゆく

広報

第 11 号

発行所
千葉県夷隅郡御宿町役場
発行者 井上文吉
編集者 東栄蔵

印刷所
株式会社 阿佐商会
千葉市市場町 14
電話千葉(2) 4467・3936



広報は綴つておよみ下さい

じゃがーら じゃがら
じゃがらと ぐいとせ!!
その木わ 何の木
うーんとを…… あのさあゝ
小首かして どこにすべ

昔の唄のそのまゝに
潮風そよぐ砂山を
どろんと天使が
駆け抜ける

小さな風にあふられて
うぶ毛青草光つてる
お陽さまニコく
見つめてた



33年度事業は 実着に進んだ

昭和三十三年度町財政のしめくり(決算)については、八月一日公表の広報でお知らせする予定ですが、五月末日の出納閉鎖期間も切迫し、納税成績向上に最大の努力を続けて居りまして、漸く收支の均衡は保持できる見透しはつきりました。

本年度施行した事業の主なものとは下表のとおりであります。この事業中道路、橋梁、消防以外は、夫々補助金及起債、

と地元分担金一般財源を以て施行し、予定通り収入は確保されましたが、町財政規模に比して、この投資的経費の占める割合が非常に大きいので何として自主財源である町税、その他の収入は百%確保しなければ今後の公共事業執行上補助、起債等獲得に支障を生ずるのでこの点町民の皆さんに特に御理解頂

き度いと存じます。

昭和三十四年度の町予算及計画事業等については、前回の広報に掲載しましたので、次回財政事情公表の際、詳しく三十三年度決算、その他財政状態をお知らせ致し度いと思ひます。

(写真Ⅱ着々と進む岩和田漁港工事)



昭和33年度施行した主な事業

事業名	事業概要	事業費本年度	翌年度
公営住宅建設	簡易耐火平家二種 八坪五合 十戸	七、三三二 千円	七、三三三 千円
御宿漁港修築	防波堤三二米構築	三、〇〇〇 千円	三、〇〇〇 千円
岩和田漁港局部改良	船曳場 一八米 港内堀さく 六十米 旧中堤縮切補修 三三六立米 三三六立米	九、〇〇〇 千円	四、五〇〇 千円
御宿漁港復旧	防波堤 七米 臨港道路 一二米	一、八二五 千円	九、八七 千円
岩和田漁港災害復旧	石積護岸 六六米 中防波堤 二〇六米 物揚岸壁 三三米 八米	一、五〇五 千円	一、〇一一 千円
町内道路橋梁改修	砂利敷 一、五〇〇米 新町、岩和田線改良 一六六米 汎又橋梁替他一般改修	一、〇〇一 千円	一、〇〇一 千円
消防施設	実谷ポンプ 二ヶ所	一、〇〇〇 千円	一、〇〇〇 千円

新農漁村建設へ第一歩

昭和三十四年度、新農建特別助成地域として指定を受けた御宿町の、新農建総合施設特別助成事業は、農漁業振興の原動力として、計画設計の樹立を終り、八事業種目が今年度に於て採択され、六月中旬の農林省の査定を待つて、いよいよ実施の

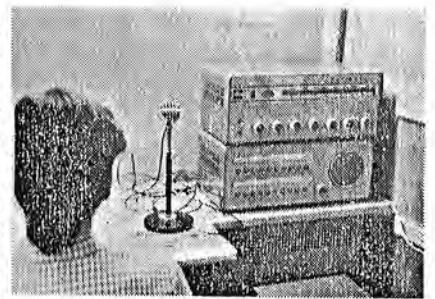
段階に入ろうとしています。この中時期的な関係から、事業主体岩和田漁協の、漁業放送施設、総土費三十九万五千元。

海女作業所 (八棟四三・七五坪) 総工費八十一万三千元が事前着工承認となり、すでに着工

を開始、漁業放送施設は五月下旬竣工、船の漁期に入り、連日漁況速報やら、天気概況の速報等、組合員の目となり、耳となつて活発な活動を展開している。この様に新農山漁村建設運動が新しい助成制度のもとに、大きく進展するための第一歩を踏み出しました。

事業の洋細は農林省査定通過後次号で御報告致します。

(写真Ⅱ漁業放送施設)



戦後わが国民民主化の一環として新憲法のもと、地方自治法が施行されてから早くも十余年の歳月を経過した。この十余年の歩みをふりかえってみると、戦後甚大な戦災や、相ついで起つた災害から立直り、困難な経済状況を克服して住民福祉の向上と民主化のため貢献した地方自治体の努力は高く評価されてよいと思う。町村合併以来十数年星霜を閲みし、多難を極めた地方自治体の足跡をかえりみ今静かに往時を回想して感慨の深いものがあります。

＝就任の御挨拶＝

町長

井上文吉



なる感謝と敬意を表する次第であります。

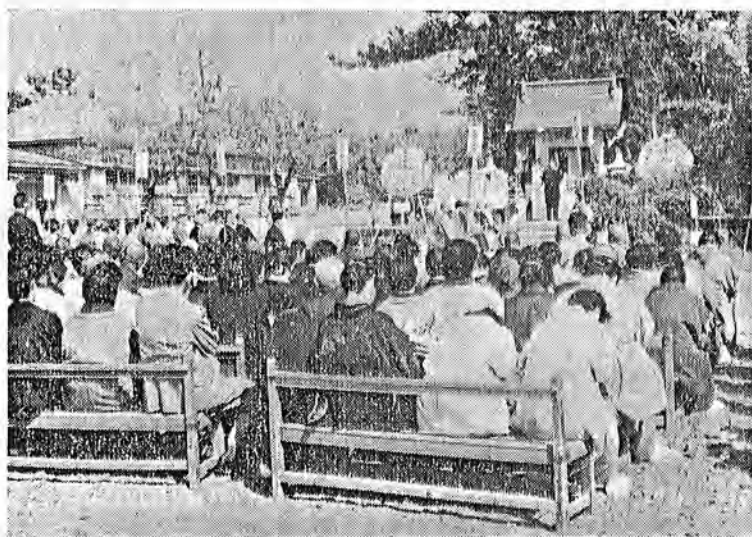
私は元より平々凡人、老令にして拙劣非才の身を以て、今また町長の重職に就任することは恐縮に存じますが、町民各位の有がたき御推薦を忝けのうし、公僕として勤務することになりましたので、敬愛する町民諸氏よ旧に倍し御指導を賜り度く略儀ながら広報を通して御挨拶申し上げます。

にあるといつても過言ではないと思えます。然し、国また県、況んや町村が自主独立の立場より向上発展するには何んといつても予算面に於て先ず第一に財源が物語るので、教育、産業に、土木、衛生に、消防に観光に福祉事業等次から次へと仕事が進まれますが、幸いにも親愛する町民各位には日頃和合団結して思いを町政の上に致され、堅実なる自治行政の運営を進めて来りま

新たななる涙さそいで

忠霊殿顕彰慰霊祭

新たに改装された忠霊殿に、三百三柱の英霊を祀る顕彰慰霊祭が、快晴の五月十日午後一時より、御宿小学校々庭（忠霊殿前）に於て、遺家族始め関係者多数参列の下、しめやかに取り



行なわれた。修被、招魂の儀、神霊奉安の儀と進むにつれて、遺族席から、亡き人の面影を偲ぶすすり泣の声が増えて悲しみが祭場をつつむ。

井上委員長の祭詞に続き、遺児を代表して山田君が、「私にはただ母に聞く父の話しと写真だけでしか父を偲ぶことが出来ません。両親に手を引かれ、うれしうに歩いている友人を見ると、父が

生きていてくれたらと胸がしめつけられる程悲しい」と、うつたえる一言一句は、せつせつと胸を打ち、又新たな涙がほほを濡らして、祭文を讀みあげる山田君の声もかすれがちとなつた……。

これは山田君一人の言葉ではない。これのみとする人達に先立たれ、日夜辛苦の思いに沈んでいる人達の言葉なのだ。

戦争という大きな犠牲のかけにこうしてとりのこされた人達、それ以上に、かわい子供を、片時も忘れる事の出来ない父や母を、兄弟をのこして心引かれながら、御国のために死んでいった人達の気持はどんなであつたらう。

私達はこの人達に大いなる感謝の念をささげよう。

このあと各来賓、遺族全員の焼香があつて厳肅な内に儀式を終了した。



祭詞

慰霊祭委員長 井上文吉

網代の海磯うつ浪も華と散り
音も爽かにきこえ常磐の松の緑
ゆかしき所を選び定めて、今年
吾が町の議会の決議を経、特に
町の郷友会、遺族会も一段と力
を添えられ、町民もまた一つ心
に心を協せて、元の御真影奉安
殿を改装して、忠霊殿と改称し
今日よき日に招魂鎮座の儀を
執行することになりました。
嗚呼、懐かしき御遺族を始めと
して、来賓各位、関係者多数御
参列の下、三百三柱の雄々しき
英霊を祀り、世に有りし昔のお
もかげを偲びまつるさまを安ら
かに見曾なわし座せと、御前に
額すき慰霊祭委員長井上文吉謹
しみて申し上げます。

行かば草むす屍大君の辺にこそ
死なめのどには死なじと誓いも
固く出立給いて、不知火の筑し
の果の八重の塩路を伊渡り、照
る日影なき夏の暑き苦しさはど
んなであつたでしょう。雪霜凍
れる冬の寒むげさはまたいかば
かりであつたでしょう。刀枕仮
寝の夢を結ぶにも先ず思い出る
は故郷のことのみで、父母兄弟
を懐しと思いに鎮んだでしよ
う。ある時には一本のタバコも
戦友と鉄カブトの下で吸い合
い、今当時は追慕し偲ぶ時、涙
新たに庭多泉袖ぬらせとや。せ
き来る涙胸にせまり、悲しとも
悔しき極みであります。

ではないでしよう。今や倫理学
説の多くがあやまつた見方に立
脚するために、甚だしく道徳を
歪曲させたことは遺憾の極みで
ある。道義は人の人たる道であ
るからいやしくも道義を実行す
ることによつて、愈々人を不幸
におとし入れるようなことは考
え得られないことであると信じ
ます。故に英霊を慰め、英霊に
報いるの道は道義を重んじ、誤
りのない人生觀を把握して、そ
の得た科学を意義あるものとし
ようと信じているに違いない。
われらは道徳の本義を正解して
社会の進展に向つて奮闘しよ
うではありませんか。

天は自ら助くるものを助くると
言う金言が物語つて居ります。
正しき行いを実行してこそ、人
生の生き甲斐があると信じま
す。古きをたずねて新しきを知
ると。道義なくして国家は成り
立たぬ。懐かしき英霊等よ、今
日よりは安らかにこの忠霊殿に
鎮り給いて、目のあたり朝な夕
なに学びの道にいそむいと
の吾が子等の生育ゆく姿を樂し
んで下さい。そしてわが町政の
運営に過ちのないよう御守護下
さい。赤誠を捧げて祭詞を申し
上げます。

祭文

遺児代表 山田信久



若葉青葉の
目にしみいる
さつきの今日
御宿小学校々
庭に於て関係者皆様の多数御出
席の下に、戦歿者慰霊祭を行つ
て下さいますことは、僕達にと
りまして非常に心うたれるもの
があります。

思えば僕達が生れて来たのは第
二次世界大戦が一層激しくなり
出征する人も日日に多く戦局も
日本には必ずしも良くなかつた
時でありました。
国家のために征きふたたび帰ら
ぬ父も又その一人でした。
私にはただ母に聞く父の話しと
写真だけでしか父を偲ぶことが
できません。父についての思い
出は何んにもなくとも、私は父
のことを片時も忘れたことはあ
りません。
いつも心のどこかに住んで生き
ており、折にふれて私のすること
を見守り、励ましてくれます
両親に手をひかれうれしそりに
歩いている友人を見ると自分の
身にひきかえ、父親が生きてい
たらと、胸がしめつけられる程
悲しい思いをしたことがあり、
母が早朝よりおそくまで懸命に
仕事をしている姿を見る度に私
にはどうして父がいないのかと
淋しい感じに打ちひしがれた事
もありました。
その時に、戦争さえなければ、
そうだ、戦争さえなかつたなら
父は死ななかつたのだ。私にも
「お父さん」と呼ぶ人がおつた
のだと思うと戦争が憎くて憎く
てたまりません。
今後絶対にこの様な事のないよ
うに心から願つております。
しかし現在では、その事のみ
とらわれてはいけいけいのだ
と心に言いかけます。父は僕
のことを必らず見守つており、
良いことをすれば喜び、悪いこ
とをすれば悲しむ。父は私の心
だ。強く明るく陣を助け兄弟と
共に手をたすさえ立派な社会人
となるのが父の志にむくゆる
唯一の道なのだと思ふ様になり
ました。
「お父さん」僕達は今後しつか
りとやつてゆきます。どうぞ今
後共お守り下さい。
終りに本日の慰霊祭の式を挙げ
て下さいました町の人々に深く
感謝を致します。

あの人 この人

岩和田小学校長

吉野 登



旧上野村(現勝浦市)に生れ

長狭中学から千葉師範を出て、昭和十七年荒川小学校をふりだしに教員生活に入ったが、先生よりも小さい時から軍人になりたかつたそうである。この念願が叶つたわけでもないが、同年十月石集され、五年ほど気合の入つた軍隊生活を送つたが、昭和二十年復員と同時に現職に復帰した。

昭和三十三年岩和田小学校就任と共に校長に昇進。地域社会に直結した明るい学校の建設を信条に、信念のある人間に子供を育てたい、と云う情熱を持っている。志が強く、闘志も満々、部落民の信望も厚い。斗酒なを辞せず

酒を呑んで理性を失う様な人間は屑に等しいと云う。剣道二段趣味の釣は自称女人の腕前。一姫二郎と三人の子持でこの道でも模範的である。三十九才

御宿小学校長

小林秀三郎



この道に入つて、すでに三十年と云うから、教育界の裏も表も知りつくしている事だろう。「常に前進する事が良い教師だと思ふ。健康的な教育をモットーに、物事を科学的に考える子供を育てたい」と云うのが教育信条。

スポーツはもつぱら見る方のみだが勝負事ごく好きらしい。趣味は旅行で、旅行中のエピソードは数多いそうだ。

名前が秀三郎だから多分三男だろう、と云う訳で若い時、ぜひ

お婿さんにと何度かもらいに來られて困つたというから、若い時は模範青年であつたと想像される。

人が良く誰からも好かれるタイプ。

四校長中の最年長者として、各学校と密接な連絡を取り合つてゐるのは他町村にみられないもので自分を良く生かしている。太東町の生れで満五十一才。二人の男子がある。

布施小学校長

浅野 太



十人兄弟の長男として旧中根村(現長者町)に生れた。

千葉県実業補習学校教員養成所を卒業して教師となり、昭和二十八年布施小学校長に迎えられるに至つてゐる。

園芸が趣味で、日曜日には庭の植木鉢を眺めながら静かに読書するのが楽しみだと云う。好きな作家は長谷川如是閑。思想的には二宮尊徳を尊敬している。

ずい分短気で困ると自分で言つてゐるが、ねばり強く、目的に一歩一歩確実に進む人だと云うのが周囲の批評。教育信条は、逆境に負けない人間を作る事。男三人、女一人のお子さんがある。満四十六才。

御宿中学校長

滝口 松蔵



花いじりが趣味だとか、花は正直で人間相手よりもどんなに良いかわからないと語る。

人間を教育する事はむづかしい……毎日何百人の生徒を教育してゐるのだから無理もない。たまには人の居ない世界へぬけ出したくもなるだろう。

明治四十四年御宿の高山田に生れ、三十五才で校長になつた。

昭和三十三年生れ故郷の学校に迎えられる、校長のイスにデンと座つてゐる。

奥さんと共に音楽を愛好し、ベートウベン。シユウベルトを入

間的に尊敬してゐると云う。

指導主事を二年勤め、教育指導に對する実力は高く評価されてゐる。教育信条を問うと、一、ねばり強く自主的に行動できる生徒

二、知性豊かに考え深い生徒
三、健康で明るく情操ゆたかな生徒

四、自己を生かしながら他人と協力できる生徒
五、勤勞の価値と喜びを感得できる生徒を育てること。

であるとお簿書きでおしえてくれたのもこの人らしい。風ぼうが天皇陛下ににている。四十七才。



お医者さんに

かかる時は

保険証を忘れないで

下さい。

トピック

投票率は郡下第二位

六月二日行われた参議院選挙は、底調説をしりぬに、県議選を二・二八%上廻る、六五・九八%と、郡下六町村の中大多喜町の七五・一八%に次いで第二位の成績であった。

無料巡回診療に90人

ると、町民税九六・七%、固定資産税九三・〇%、その他の税(タバコ消費税、木材引取税、電気ガス税等)九九・七%と良好な成績である。

町税成績は良好

五月三十一日現在による、昭和三十三年度町税徴収成績をみると、約百人が、診断を受けた。

五月二十六日御宿小学校で、日本赤十字社千葉県支部巡回診療班による診療奉仕が行われ、

いる／＼な病気で悩んでいた人約百人が、診断を受けた。



「写真II診療を受ける人。そのほとんどが老人であった」

貸間、貸家は

お早や目に

観光シーズンを迎えて、観光客受入れにいろ／＼と準備を進めているが、貸家賃間を希望される方は、貸家、貸間の別間取、風呂の施設、炊事場の有無等をハッキリ書いて役場観光係迄お早や目に申し出下さい。



にぎわった撮影大会

皇太子殿下御成婚記念行事して千葉県及全千葉写真連盟主催のもとに地元観光協会、その他千葉県観光協会、小西六等の後援で、五月三日午後一時より岩和田大波目海岸で海女の撮影大会が盛大に行われた。

当日は折りよく好天に恵まれ、東京、静岡、埼玉、神奈川の各県から二百余名のカメラマンが愛機を携えて来宿、大変なにぎわいをみせた。

最初の誘惑に勝て

新聞を見ると、他人の物を盗んだ、酔つて他人に傷つけた。強盗をした等という犯罪者の記事を数多く読む事が出来ます。これ等の人達も初めからこのようなことをする人ではなかつたはずで、ではなぜこんなことをしたのでしよう。最初の誘惑に負けたからではないでしょうか。誰も最初から盗人となるためにわざと盗みをする人はありません。それはちよつとした心のはずみから悪心に負けてついうつかり手を出す。万引をする或は一時の肌をしのごために悪いことと知りながらつい、いささかの盗みをする、遂には良心が麻痺して盗癖に陥る人が少なくありません。また誰もがウソつきとなるために、わざと初めからウソはつかない。酔つぱらつて他人に迷惑をかける人も同じで、初めから酔つぱらいではない。わずかの浮れ気分で最初の一杯を呑む、だがそのあとの一杯は待て、これで止めよう、と決心して呑みながらもついで量をこして飲酒の悪癖に囚われてしまふ。第二の盃、第二の浮れ気分、第二の嘘言、第二の盗み、

それらはすでに広く開かれた扉であつて余程注意しないと自然に深みに入つてしまふのです。性の問題については殊にそうでありませぬ。一度誤れば抜きさしならぬ泥沼である。悪友に誘われて味を覚え、悪い場所通いをして深い深い淵に踏みこまぬよう気をつけてとは、奈落の底に沈んだ無数の人の誰れしもが最初に誓つた言葉である。「初回は自由だ、二度目からは俺の支配だ」と悪魔はいう。それは善行についても同様で、第一の誘惑に打勝つことができれば第二の危険はその半分ほどもしない。最初の誘惑に対して勝つことに努力するならば次の勝利はたやすくなりついに容易に善を行えるようになるものです。われわれ特に青少年の周囲には誘惑が多い、意識して誘惑に勝つことは容易にできる。しかし意識しないでしらすしらす誘惑に負けて行くことがあることは見のがせない。意識しない誘惑に勝つためにお互いに努力しようではありませんか

(御宿町警察)



御宿俳壇

干網の裾に添乳の海女昼寝
吾子も知る鯖火明りの今宵とは
崩れゆく砂丘を惜しみ春惜しむ
風吹けば霧湧く如し松の花
水芭蕉水のしたよりきいて居り
渚づたひいつか跳になりけり
竹めば砂さら〜と月見草
そこはかの魚臭まつはり夕薄暮
新緑の山の裾なる墓百基
新緑の山重なりて低からず
父母眠る墓地をかこめる椿垣
鰯干す広場遙かに光り居り
薄命の児の葬列や螢草
菖蒲笛ならず童ら湯しぶき
朝露のうすれ記念碑ほの見ゆる
モデル今ひまなりと言ふ鮑海女
鮑とる業もすぐれしキヤメラ海女
松の花ほのかにゆれて海静か
いつとなく麦刈る音の止みにけり
海風に若葉かどやくほころ坂
木の影のゆら〜動き夏めけり
畦道を曲り〜て風光る
海近くかたむく家の軒菖蒲
干し上げてみどり色濃き新わかめ

石田 ゆき緒
岩 瀬 京子
原 田 光子
土 井 久 恵
吉 野 鶴 女
潮 田 朝 子
山 田 木 念 人
浅 野 松 山
佐 々 々 々
山 口 つ る



広 報 統 計

▽御宿町では二日に一人の割合いで出生し、三日に一人死亡している。

▽日本では二十秒に一人赤ちやんが生れ、一秒に一組結婚し四十二秒に一人死亡し、三十九秒に一人づつ増えてゆきます。離婚も七分に一組で大変多くなりました。

▽現在世界人口は一時間におよそ四千人、一日にすると十万人がふえ、年間では毎年プランクが一つずつ地球上に誕生している計算になる。

児童生徒数

五月一日現在にお

ける児童生徒数は、
御宿小学校九四〇人
岩和田小学校三二〇人、
布施小学校五七人、
御宿中学校五九〇人、
計二二六七十人である。

おめでた と おくやみ

(34.5.1~5.31受付分)

男女女女女男女男男男女女
長三長長二長三二長三四

二 郎 一 蔵 イ 臣 雄 一 平
次 精 幸 延 謙 岐 義 一 理 進 衛

三 郎 一 雄 見 男 雄 郎 雄 平 三 雄 郎 一
仁 蕃 龜 義 晴 芳 安 力 良 省 良 芳 榮 久

妻 妻 父 母 妻 四 妻 妹 養 母 父 父 母 妻

出 生
倉 藤 辺 本 上 辺 本 木 藤 地
高 伊 渡 松 井 渡 関 松 鈴 佐 大

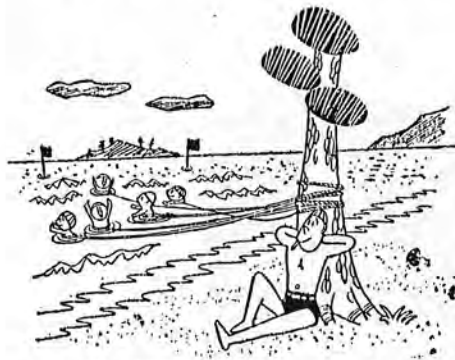
死
田 野 村 瀬 野 松 沢 野 藤 口 下 石 田
式 長 中 岩 磯 界 小 花 岡 後 山 松 大

浜 " " 保 町 " 軒 施 施
久 " 新 六 上 上

浜 保 町 " 軒 施 施
久 " 新 " 六 六 上 上 岩

行 子 代 子 二 子 享 之 睦 江 亡
和 公 雅 京 庸 陽 昌 仲 君

り 満 助 し 子 明 子 江 治 七 ね ウ
ゆ 多 之 よ 才 茂 満 幸 と べ 清 弥 つ り



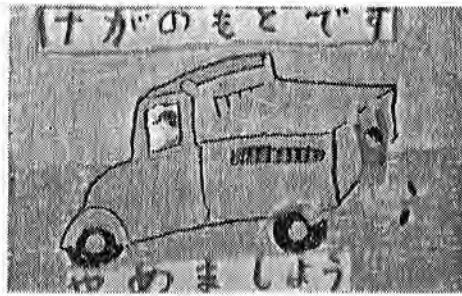
☆龜の子泳法(海浜の事故防) 七月~八月 「土曜波がきてもこれなら安全……」

明るいニュース

みごと第一位に

大原警察署ではこのほど管内小中学校児童生徒から交通安全の標語とポスターを募集したところ標語七十八、ポスター二百二十枚の応募があつたので五月十五日審査を行い入選を決めた。

この結果当町から応募した、君塚大学(御小四年)が標語で、小川富美夫(御小四年)がポスターでそれぞれ第一位に入選という、りつばな成績をおさめた。



(上の写真と標語がその作品)

【標語】

右側は、ゆきも

かえりも僕の道

統計調査で大臣賞

通商産業省主管で、毎年工業統計調査が行われているが、このほど統計事務が優秀であるとして御宿町(主任東栄蔵)が、又、優良事業所として、岩瀬酒造株式会社、通商産業大臣から表彰された。

戸籍で吉野さんが

戸籍係吉野誠氏は、多年戸籍事務を担当し、成績優良である和一宮支局管内戸籍協議会長より表彰された。

貯蓄功績者に

片岡さん

片岡薫さんは御宿町婦人会長農協婦人部長として、貯蓄増強のため、実践組織の指導育成に努力して来たが、その功績が認められ、三月十八日大蔵大臣、日本銀行総裁より表彰された。

この度不図も貯蓄功績者として大蔵大臣賞を戴きまして日々身に余る光榮と存じます。これも日頃皆様方の御協力の賜物と原く感謝致して居ります。

五月九日に県庁の議員室で賞状と楯とを戴いて参りました。それに就て役場の東さんから、何か書く様に云われましたが、今更貯蓄の必要性を強調しても始まらないと思いますが、去る三月九段会館で開かれました「新生活と貯蓄」全国婦人大会に出席しまして「家

計簿を中心としたグループ活動に就て」と云う

表彰

(されて)

片岡薫

計簿を中心としたグループ活動に就て」と云う

体験発表をいくつか聞いて参りましたが、その時我が御宿町の各家庭で果してどれ位の人々が家計簿を記帳する事によつて、自分自分の生活の足跡を見ているだろうか知りたものだと思

考えました。生活とは只単に生きて居る事ではありません。よりよき幸せを築き上げて行く努力の積み重ねであつてこそ始めて生活していると云えるので

す。新生活運動も貯蓄運動もその目的は等しく、明日の幸せを築く事にあります。しかも一人

を、どの月にどれを、と云う様に目標をたてて貯金をしなくてはならないでしょう。皆で協力してその金を生み出す為の工夫をする、営農計画ともならみ合わせる事も必要、場合によってはアルバイトもしなくてはならないかも知れない。又安い材料でカロリをうんと上げるよう料理の工夫もしなくてはならないかも知れない。然しそうして一家協力して生み出した金を貯蓄し、やがて望みのものが一つ一つ実を結んで

いつたら本当に張りのある生活が出来、苦勞のし効もあつたと云うものでしょう。九日に知事さんから戴いた短冊に曰く、

貯金してみんなにここに

明かるい郷土





荒磯物語

鶴岡節雄

(2)

— あらすじ —

▽その頃の岩和田は人口二百そこそこの栗村にすぎなかつた。そこに峯蔵の家もあつた。峯蔵は妻をなくしてからすつかり老けこんでしまつたが、一人娘のお千代と静かな暮しを続けていた。

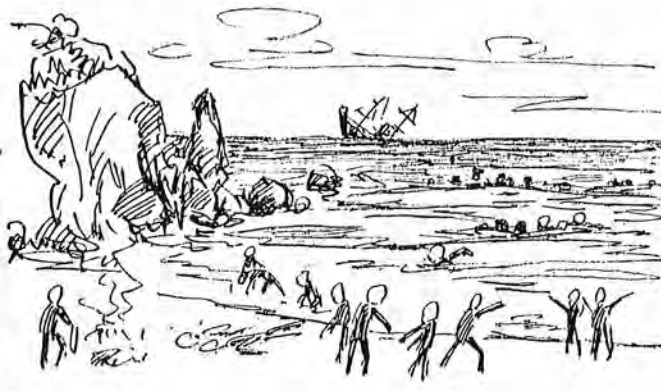
その年の夏、大しげがあり、一人の若者が海辺にたおれていたのを峯蔵が家にかつぎこみお千代にだかせて一命を救つたが、お千代はこの男を一見して愛してしまつた。

.....◇.....◇.....

「お千代さん」一言いつたきり口をつぐんでしまつた小兵衛は思い切つて言つた。「お千代さん。随分御世話になりましたが近いうちにたたなくてはいけません。何も聞かないでたして下さい。御恩は決して忘れません」お千代はあまりの突然にぼんやりしたが、ふと思いつくと「小兵衛さん」といきなり小兵衛のふところにとびこんでいつた。「私をおいて何処え.....」

とあとはただ強く泣くだけだつた。小兵衛は、自分がお千代にだかれたことをそのときありありと思ひうかべた。小兵衛には何処えも行くあてなどはなかつた。父太兵衛にめぐりあつた時からこんな運命を望んでいた自分ではないかと思つた。うるうると海をさまよつていたばかりにこのお千代にあえたのだ。不思議な気もするし、又涙の出るほどうれしかつたのだ。小兵衛は思いきりお千代をだきとめた。二人の足もとに無残にふみつけられた昼顔にも気がつかない位に。

せきの山だ、大した了見のある男ではなかつた。「お千代さんの顔が見たいんだらう。そんなに見たかつたら勝手にお千代さんと一しよになつたらどう」気性の勝つたお照はまんざら金太を嫌いでなかつた。そんなのどかな日が二、三日つづくとまた海鳴りがひどくなつて峯蔵の家の粗末な押窓をたたいて波濤の飛沫がえんりよなく舞いこんできた。一日中磯浪の穂が毒蛇が白い舌なめずりでもするように岸を洗つた。宵に入ると風雨はいよいよすさまじかつた。正確にいうと慶長十四年九月の末のこと。一晚中暴れ狂うた暴風雨は夜明けにはうそみたいに



収まつていた。お千代は誰にも気づかれぬようにおき出すといつも行く田尻の浦へ急いでいた。父の習慣がいつかお千代のものになつていったのだ。しげのあとには必ず思わぬえ物があるからだつた。田尻へ出るには険しい鳥山岬の径を越えなければならぬ。お千代が岬の上につき

たときはまだ明けきつていなかつた。お千代はよくその芝草の上でお照を待つことがあつた。お千代がふと気がつくともまだう

す暗い沖の一ところにひどく溝頭が騒いでいるような気がした。お千代は何か胸騒がしたのとそのとき、ひよいとお千代のそばにたつものがあつた。「なんだお千代ちゃんか、びつくりした」とたいしてびつくりした様子もなく近寄つて来たのは金太であつた。「相変らず、働きもんだな」と言いながらシロジ口とお千代をねめまわすと「だからお千代ちゃんが忘れられない」「お千代ちゃん。ほんきだ」金太はつめよるといきなりお千代をだきすくめようとした。お千代は金太の手をふりはらうと夢中でかけだしていった。田尻の浦の砂浜が見えて来る時分にはようやくあたりは明るくなつていた。お千代はそこまできてまたぎよつとした。砂浜にはただならぬことがおきていた。何かごたごたと動きまわるものがあるかと思うと、わけのわからない異様な叫びもきこえる。お千代はしばらくぼう然と立ちつくしていた。が、わななく足をふみしめてようやく海女小屋のかげまでおりていた。散乱した箱や板子。その間を丸裸で働きまわる異様な人間。それはお千代がまだ一度もみたこと

のない人間であつた。ぞくぞくと板子や人間が流れついでいる。ふいに「お千代」と呼ぶものがある。顔色を變えたお照がお千代の肩をたいたのである。「金太さんは」さうお千代が言つたのをお照は動てんしてゐるのか深くも気がつかないようであつた。「そこまできたけど」といひながらもお照は上の空でただもうぶるぶるとふるえていた。それからどのくらいたつたのか。お千代がわれにかえつたとき、お千代は髪の色、目の色まで不気味な、うろろする人だかりの真中で一人の人間をじつとあたためている自分を發見した。

この現場こそとフライリビン諸島長官ドン・ロドリゴの乗船サン・フランシスコ遭難の現場だつたのだ。ロドリゴの手記になる彼の日本見聞録によると当時の模様を次のように述べている。即ち「溺死するもの五十六人。漸く難をのがれたもの三百余人。陸に上りし多人数のうちシヤツを取出したる者数人は最も富裕なる者と考えたり」とあり、又「日本人五・六人我等の許に來り、我等の此の如き状態を見て憐むことを言語及び動作

に依りて表示せり」とある。お千代はやがて妙に顔をこぼらせて近づくとその人達を見た。お千代は何も考へることはなかつた。目をつぶつてまたひらいたとき、お千代はその中に小兵衛のいることを知つた。見聞録は又「日本人の一群來りて何人がアチヤ(主君又は船長)なるかと尋ねたれば、予なりと答へたるに、彼等は予を制し、外一同と共に頗る悪しき道(田尻の海岸より小丘を越えて岩和田に至る難路か)を通りて其村に連れて行きたりといつてゐる。

それから数日たつたある夕ぐれ、峯藏と小兵衛が岩かげで釣糸をたれてゐた。小兵衛の糸が少しも動かないのは何か考へてゐるしやうこだ。「小兵衛さんとか言いましたね。お千代ちゃんてさういう女なんだ。お千代ちゃんばかりじゃやない。この村の女はみんなさうなんだ。情が深いからね」田尻浦から竹之谷に出る難路で金太という男が前に後にからみついで言つた。この男はこれという思案もないくせに村中をわいわいと騒ぎまわるばかりであつた。小兵衛はそんな騒ぎにたまりかねて思切つてその間へとびだしていつた。

遭難者を大宮寺に收容するたてを心配したのも小兵衛であつた。金太はとつぜん現われた小兵衛にただひきずりまわされたにすぎなかつたのだが。小兵衛のまぶたに異人をだいたなやましいお千代の豊満な肉体が浮ぶ。小鹿のようにひきしまつた四肢のお千代とは別的小兵衛は崖の上から金太をつきとばしてやりたかつた。しかし考へてみるとつきとばしたかつたのは小兵衛、自分自身であるような気がした。

その夜の小兵衛は思ひのままにお千代をだいた。お千代をだきしめながらお千代をひどく苦しめた自分が賤しいものに思われてならなかつた。又見聞録をみてみるとこんなことも書いてある。「我等の不幸なる経歴を述べしに、彼等は大に憐み、婦人は非常に同情深きが故に涕泣せり。而して彼等自ら進んで其夫に對し、着物を称へ綿を入れたる衣服を我等に貸与せんことを請ひたれば、彼等は予には之を與へ、諸人にも沢山貸与し、又其の用ふる所の食物を借しむことなく供給せり。其常食は米及び大根茄子等の野菜と稀には魚類なり、蓋し比海岸に於ては漁獲は容易ならざればなり」ともなべてゐる。(次号につづく)

みんなで考えましょう



第 1 回

ヒント

笑いは健康のもとです。

健康な□笑いは呼吸のよい運□になり、肉体的ストレスから解放し、あなたを若□らせる。分別ざかりの年□で、としりごみせず白□化番組といわれるテレビ□□組でもでも笑える会をつくりたい。もつと笑いを、もつとユーモアを。

☆賞品提供店

- 1、補生堂薬補(六軒町)
- 2、ムラヤマ時計店(新町)
- 3、ルリーブレス(新町)

当選者は一等から三等まで各一名で、右商店から賞品が贈られます。

正解者多数の時は抽せんで決めます。

☆応募規定

- 1、問題中□の中に当用漢字で記入して下さい。
- 2、締切 六月三十日
- 3、あて先 役場広報係
- 4、発表 解答及び正解者は次号の本紙で発表いたします。
- 5、応募用紙は官製ハガキ又は普通の用紙なんでも結構です。

編集後記

○町長選挙は無投票で現町長が四選された。
終戦以来幾多の困難を克服し、ただひたすら町政と共に歩んで来た氏の功績は大きい、高令と

はいえ、裸で相撲を取るほど元氣だ。安心して今後の町政をまかせよう。
○本号より、各商店の協力を得てクイズ欄を設けました。一家だんらん少しくでも役だてば幸いです。
(東)